

独立混成旅団(2) = 沖繩作戦
於ケル

独立混成第四十四旅団工兵隊史實資料

昭和二十二年三月二十五日
第三十二軍残存整理部

3012

部隊經歷、概要

昭和十九年六月頃

動員完結出帆、富山丸着難事件介動員関
係月日詳細不明(残存者二十名)

昭和十九年八月十五日

同十八日

同十八日

八月二十八日

八月二十九日

九月一日

九月二日

九月四日

九月十三日

十二月下旬

十二月下旬

昭和二十年二月上旬

三月二十三日

五月四日

西部第二十三部隊ニテ動員完結

同隊發

鹿兒島高等女學校ニ於テ待期

鹿兒島港大信元ニテ出帆

大信丸火災、夕、大島名瀬港不時着港

名瀬國民學校ニ痛撃

名瀬港履門丸ニテ出帆

名瀬港着

國頭伊豆頭ニ移動

八重洲ニ移動

中頭屋宜ニ移動

島尻未救ニ移動

甲斐戦術下令

省見、戦術ニ参加

3013

五月二十九日
 六月六日
 六月十六日
 六月二十六日

島尻南部與座伴座ニ轉進戰闘ニ参加
 旅混第十一五聯隊ニ配屬
 同日頃ヨリ中隊ノ戰闘機能消滅
 解隊

3014

二 戦闘経過概要 其一

三月二十一日 至 四月一日

昭和二十年三月二十三日朝突如南方上空より敵機ノ大編隊現出シ
ロビロ頃ヨリ爆撃ヲ開始ス

特ニ海岸地帯及海部ヲ指向セラル軍ハ直ニ甲斐戦備下令

中隊ハ戦闘配備ヲ見備セリ

2. 翌二十四日凌リ南方海上ニ敵巡洋艦現出艦砲射撃ヲ開始ス

主射向ハ湊川、仲原、真、カケヤ原及知念附近ナリ

3. 三月二十四日連日守備地域内ハ艦砲及爆撃ニ依ル攻撃ヲ受ケタリ

中隊ハ其間極力損害ヲ避ケ、晝夜兼行林田戦平指揮所並ニ

陣地ヲ補強構築障礙物等ヲ設置等特ニ戦車障碍施設ニ全

カラ注ケリ

4. 三月二十七日八日ロビロ頃ヨリ湊川海面ニ陽動の偽上陸ヲ實施ス

5. 四月一日敵ハ本島北谷東江附近ヨリ上陸ヲ開始ス其ノ兵力約三四個

師團ナルモノナリ

三 戦闘経過概要其二

自四月二日
至四月三十日

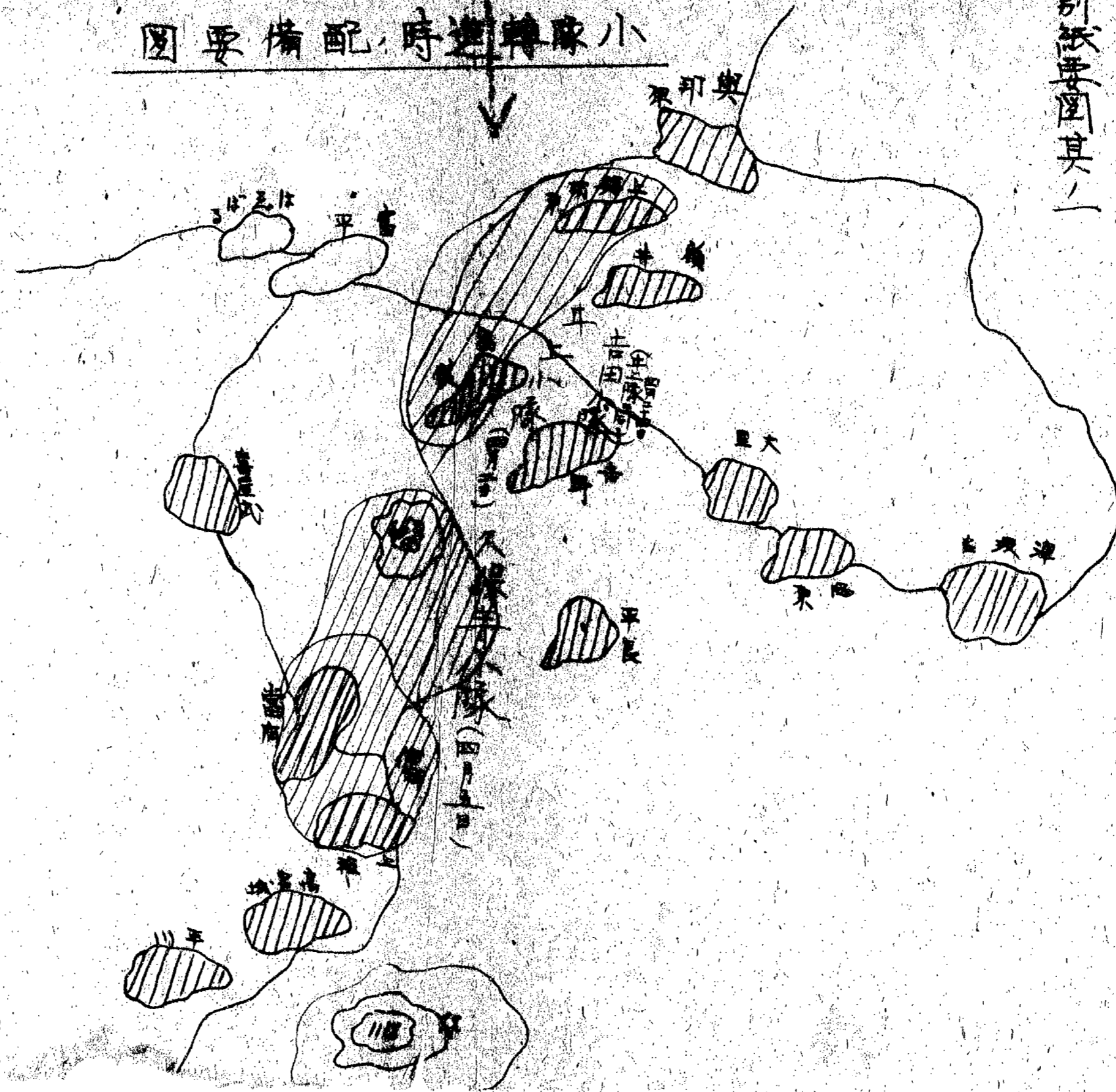
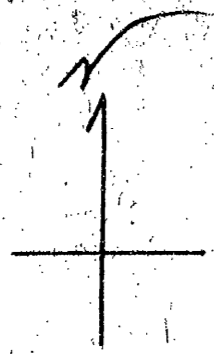
要図別紙其ノ一 其ノ二

1. 四月三日六上師団正面ノ戦況不利ナルヲメ中隊ノ一小隊(井上隊)ハ與那原附近ニ在リシ第一歩兵隊第三大隊ノ指揮下ニ入ル可ク轉進ノ命ヲ受ケ同日井上隊ハ中隊ノ隷下ヲ離レ旅団ノ指揮下ニ入可ク同夜高平ニ向ヒ轉進ス

2. 四月五日旅団命令ニ基キ一小隊(久保寺小隊)ハ高平ニ在リシモ旅団司令部ヲ援護ノ命ヲ受ケ中隊ノ隷下ヲ離レ旅団ノ指揮下ニ入ル可ク同夜高平ニ向ヒ轉進ス

3. 中隊ハ一々小隊(吉田隊)及指揮班ヲ以テ索敵ニ位置シ先ヅ旅団戰鬥指揮所諸施設交通整理ヲ任セタリ
尚吉田隊ハ溪リ方面ヨリ上陸スル敵ニ對シ斬込隊トシテ命ヲ受

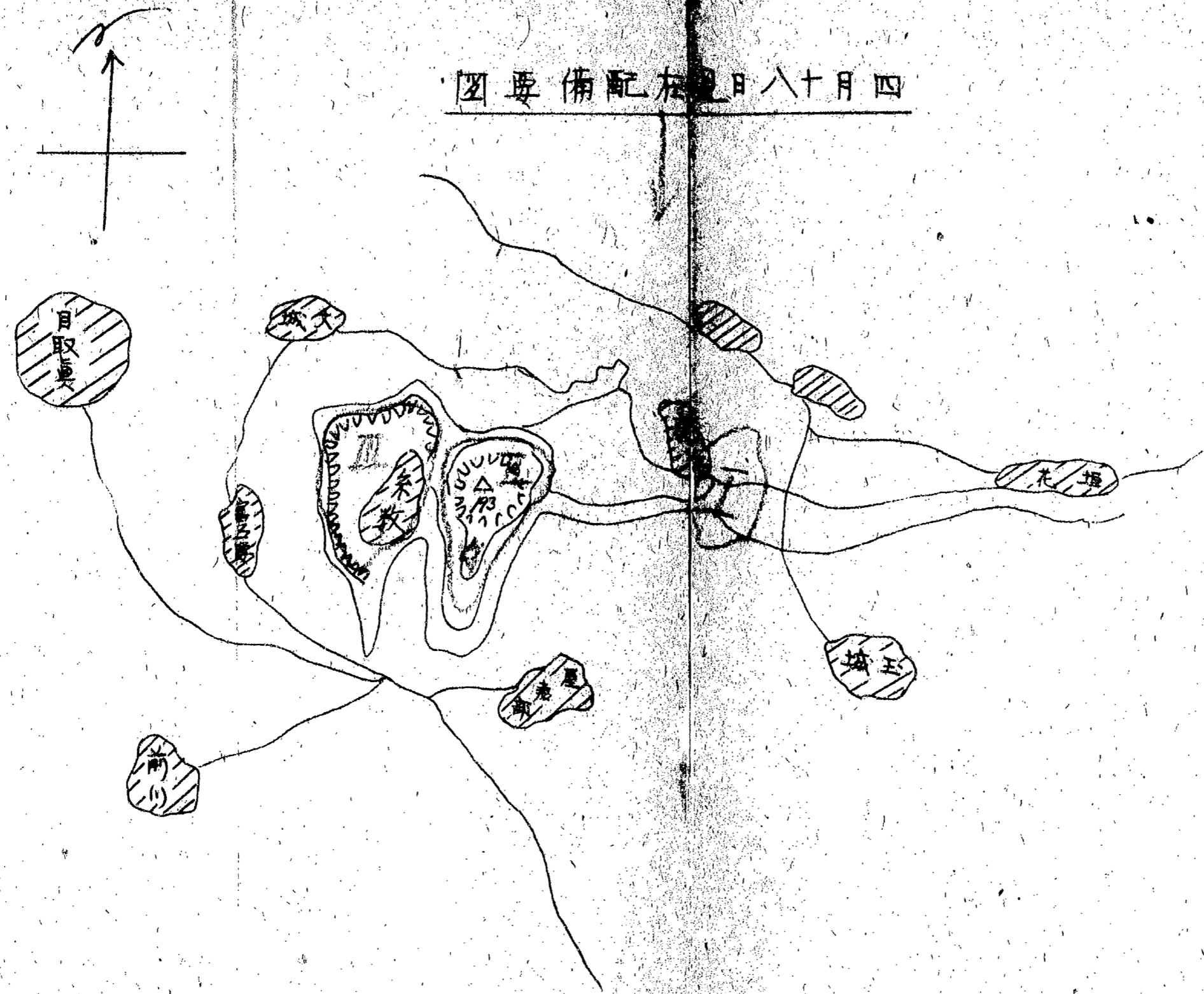
小轉時配備要圖



別紙要圖其一

7
別紙要図其二

四 月 十 八 日 在 配 備 要 圖



4. 四月九日久保守隊ハ原隊ニ復歸シ引續キ糸敷東方廣良原ニ於テ

垣花方面ヨリ攻撃ヲ予想スル敵ニ對シ中隊、第一線トシテ陣地構築
補修並ニ戰車陣地施設ノ設置ニ努メタリ

5. 四月十八日井上隊原隊ニ復歸シ引續キ中隊陣地構築ヲ補強並ニ整備
ニ任ス

6. 四月二十四日一ヶ小隊(吉田隊ハ第一歩兵隊ヲ援護スヘキ依田命令ニ基キ
中隊ノ隷下ヲ離レ同隊ノ指揮下ニ入ル可ク同夜與邦原ニ向ヒ轉進ス

四 戦闘経過ノ概要

其ノ三 自五月一日
至五月六日

要因別隊其ノ三

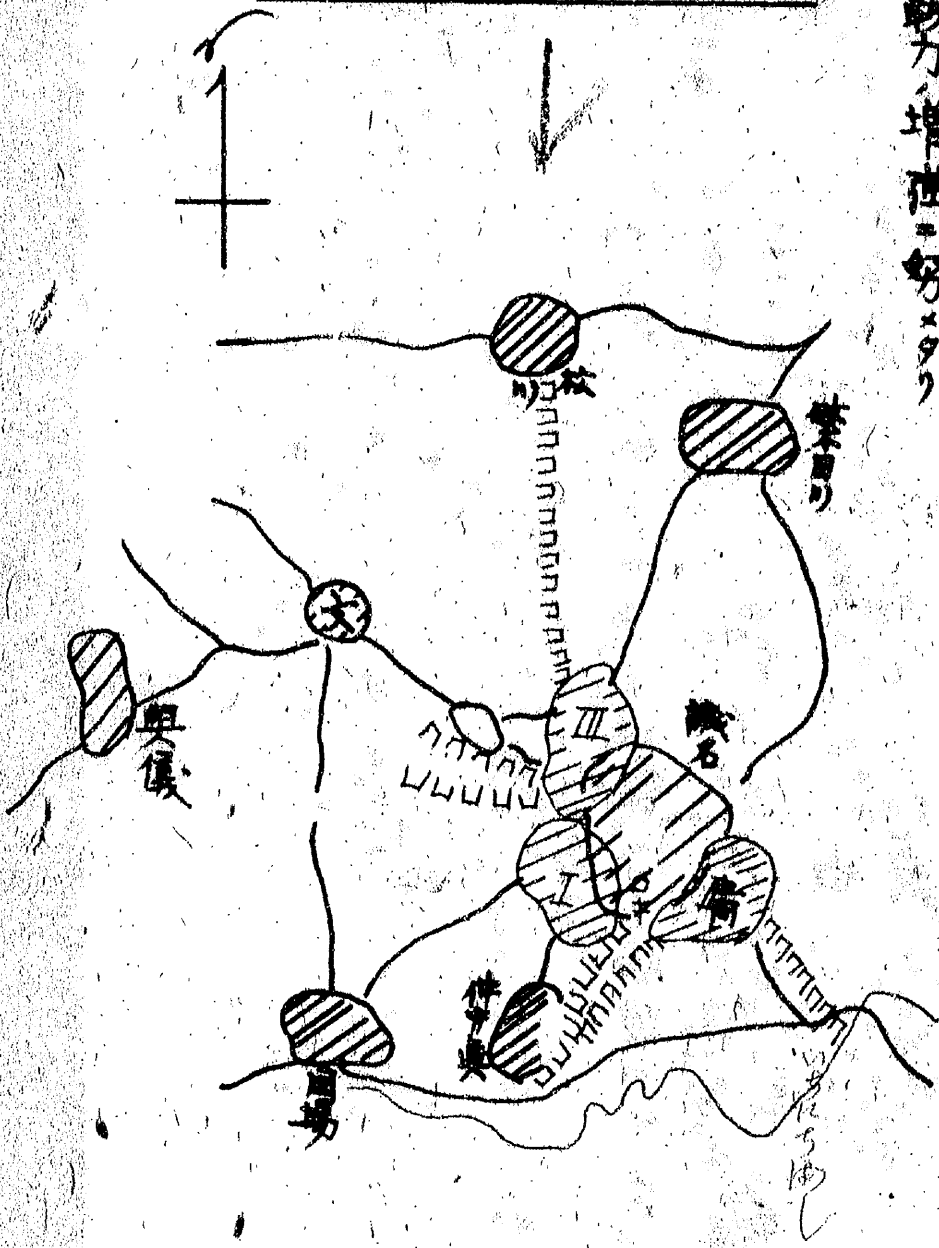
1. 五月一日新作戰ノ爲ニ中隊ハ職名ニ轉進ノ命ヲ受ケ同夜職名ニ向ヒ
轉進ス

2. 五月二日吉田隊ハ職名ニ轉進シ全員ノ志氣多ク一舉ニ

3. 五月六日軍ハ五月四日期ニテ攻勢ヲ導スルニ決シ其レニ關スル命令ヲ受領ス

三、其 要

五月五日現在既備要圖



六月五日、中隊は道里北方一帯の高地附近に進出し、夜間司令部の捜護
 スヘキ命令ヲ受ケテ、以テ進出シ、待期シ、アツレカ不幸、突ニ四師団の攻
 撃ヲ不成功トナシ、タメ、速ニ前線整備命令ニ依リ、敵名ニ後退ス。
 六月五日、中隊は一五〇高地に於テ最初ノ犧牲者數名、重軽傷者有ラシ、
 六月五日、敵名ノ線に既備ニ就キ、晝一夜兼行陣地構築、最中障壁ノ施設
 ニ任シ、戦力増強ニ努メタリ。

五、戰鬥經過ノ概要其ノ四

自五月七日
至五月八日

要圖別紙其ノ四

1. 五月七日一ヶ小隊(以保時隊)ハ旅団命令ニ基キ安里ノ松川繁田川ノ線ニ至リ、戰車攻撃ヲ命ジ受ケ同夜轉進夫々配備ニ耐キ工事諸施設設置ニ努メタリ

2. 爾後中隊編成ヲ指揮班及四ヶ小隊編成トシ一ヶ小隊ヲ三ヶ分隊ニ編成トナセリ

尚他部隊ヨリ將校梅津少尉一名、補充ヲ受ケ第四小隊長ニ任ス

3. 五月十日中隊ハ松川南側ニ高地ニ進出シ第三、第四小隊ヲ配置シ同地ヲ確保セリ

4. 五月十日旅団命令ニ基キ一ヶ小隊(吉田隊)ハ旅団砲兵部隊ノ援護ヲ命ジ受リ同夜離下ヲ離シ同隊ヲ指揮下ニ入ル

5. 五月十五日旅団命令ニ依リ重井曹長ヲ長トスル約ニテ分隊ハ斬

3021

込隊要員トシテ独混第十五隊隊指揮下ニスル

各兵ハ所命ノ配置ニ就キ地形地物ヲ利用シ各個ニ掩壕ヲ掘開シ

接蓋ヲ以テ之ヲ掩ヒ其中ニ潛入シ隱忍戰車ノ近迫スルヲ待チタルモ

好機少ク然モ友軍ノ支援火器意ノ如クナラス爲ニ敵ノ牽圧ニヨリ

遂夫其ノ兵カヲ消耗シタリ

ク敵ノ物量ヲ以テ常ニ包圍的、集中的ニ陸海空協力シテ攻撃セリ

8. 五月二十四日某部隊ヨリ更ニ將校一六ノ名ノ補充ヲ受ケタリ

9. 五月二十五日出崎軍曹ノ一ケ分隊ハ湊リ附近ノ橋梁破壊並ニ某

部隊通過ヲ接護ノ命ニ依リ同日轉進セリ

10. 中隊ハ全カヲ擧ゲテ陣地ヲ確保シ擔任地区内ノ敵ヲ攻撃シ死斗ヲ

繰リ返シタリ

11. 五月二十九日織名北側ニテ中隊ハ軍方針ニ從ヒ島尻南部ニ

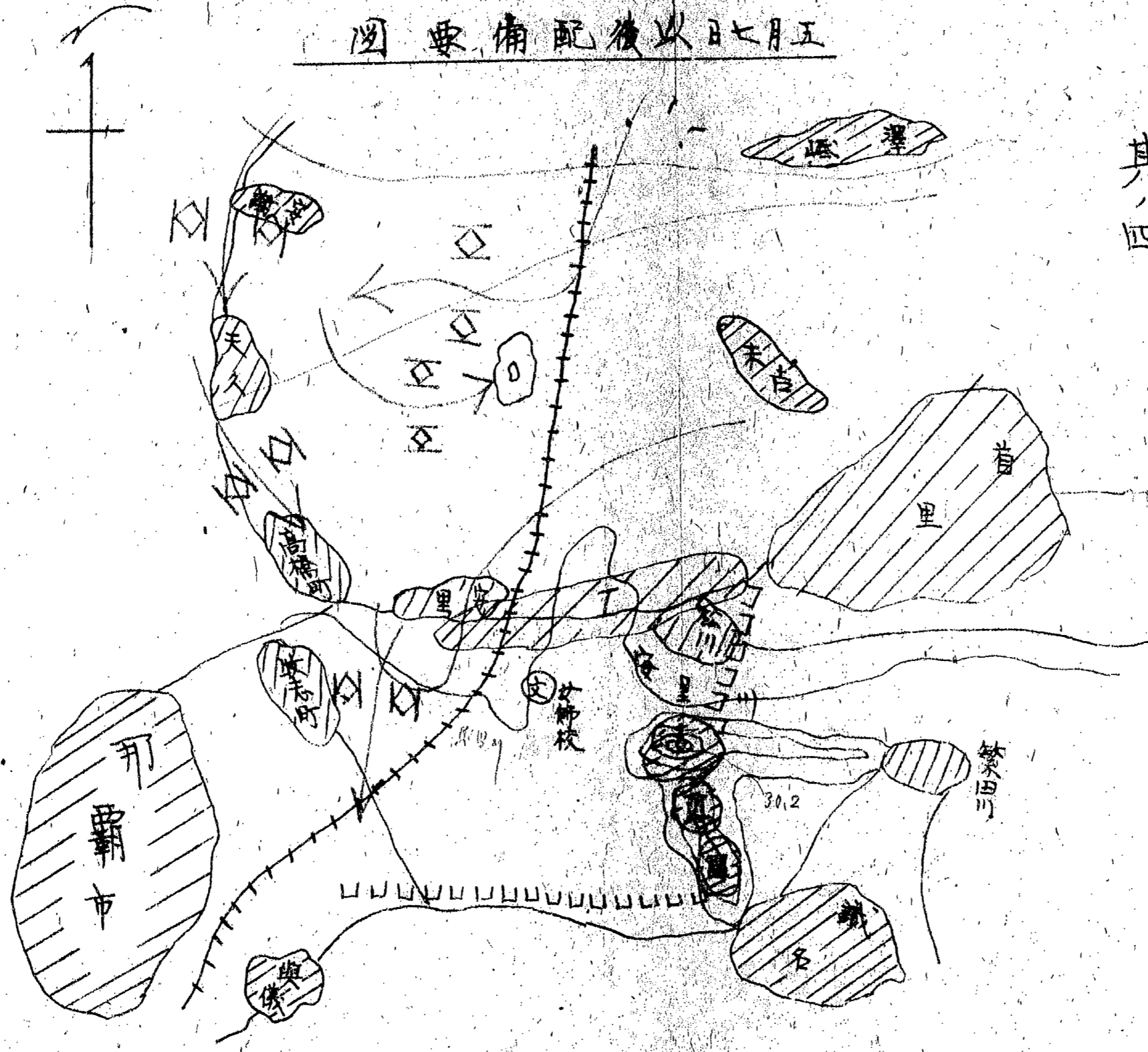
轉進ス

12. 敵ノ攻撃タルモ晝夜別テ向斷キ砲爆撃ヲ集中射依リ其被害甚

大ナリ中隊ハ本敵ヲ於テ戦カノ殆ニト半教ヲ失ヒタリ

五月七日以後配備要圖

紙要圖
其四



3023

戦闘経過ノ概要

自五月三十日
至六月二十六日

要圖別紙其五

1. 中隊ハ中座ノ西側一帯ニ陣地ヲ確保シ陣地構築戰車障壁設置等戦力ノ
増強ヲ努メタリ

2. 先ニ負傷シ後退セル輕傷將兵ヲ夫々隊ニ復歸セシメタリ

3. 六月四日敵ハ早クモ糸敷ヲ奪取シ前川新城ヲ冒シ田原凌リ具志
頭ニ迫ラス

4. 六月六日旅団命令ニ依リ糺混第十五聯隊ハ指揮下ニ入ル

5. 六月八日頃ヨリ猛攻ヲ受ケ

6. 六月十三日敵ハ具志頭ニ進出ス

7. 敵ハ遂次高地方面ヨリ主攻撃ヲ指向シ攻撃手ヲ来タシ

8. 六月十五日中隊ハ敵ノ重圍下ニ入リ同夜井上隊ハ斬りテ敢行シ戦烈

3024

九 戦死ヲ遂ク 中隊ハ敵猛攻ノタメ其ノ兵力殆ト皆無ク状態ナリ

9. 六月十六日 敵ハ強行突破ヲ實現シ遂ニ與座仲座ノ線ニ進出セリ

10 爾後中隊ハ既回攻撃ヲ行セタルニ遂ニ成行セス

11 與座仲座附近ヲ突破セル敵ハ遂次兵力ヲ増大シ後方ニ攻撃ヲ準備

中ナリ

12 中隊長以下残存数名ハ同地ヲ死守シテ戰死セリ

13 石ノ障碍ヲ超越克服シ斷乎實現シタルニ秋正ニ我ニ利アリ

此處ニ於テ中隊トシテ戰鬪機態ハ消滅セリ

14 六月二十一日 軍司令官及參謀長自決セラルヲ聞ク 傳令ニ依リ旅團ノ

爾後ノ行動ニ関スル命令ヲ受領ス

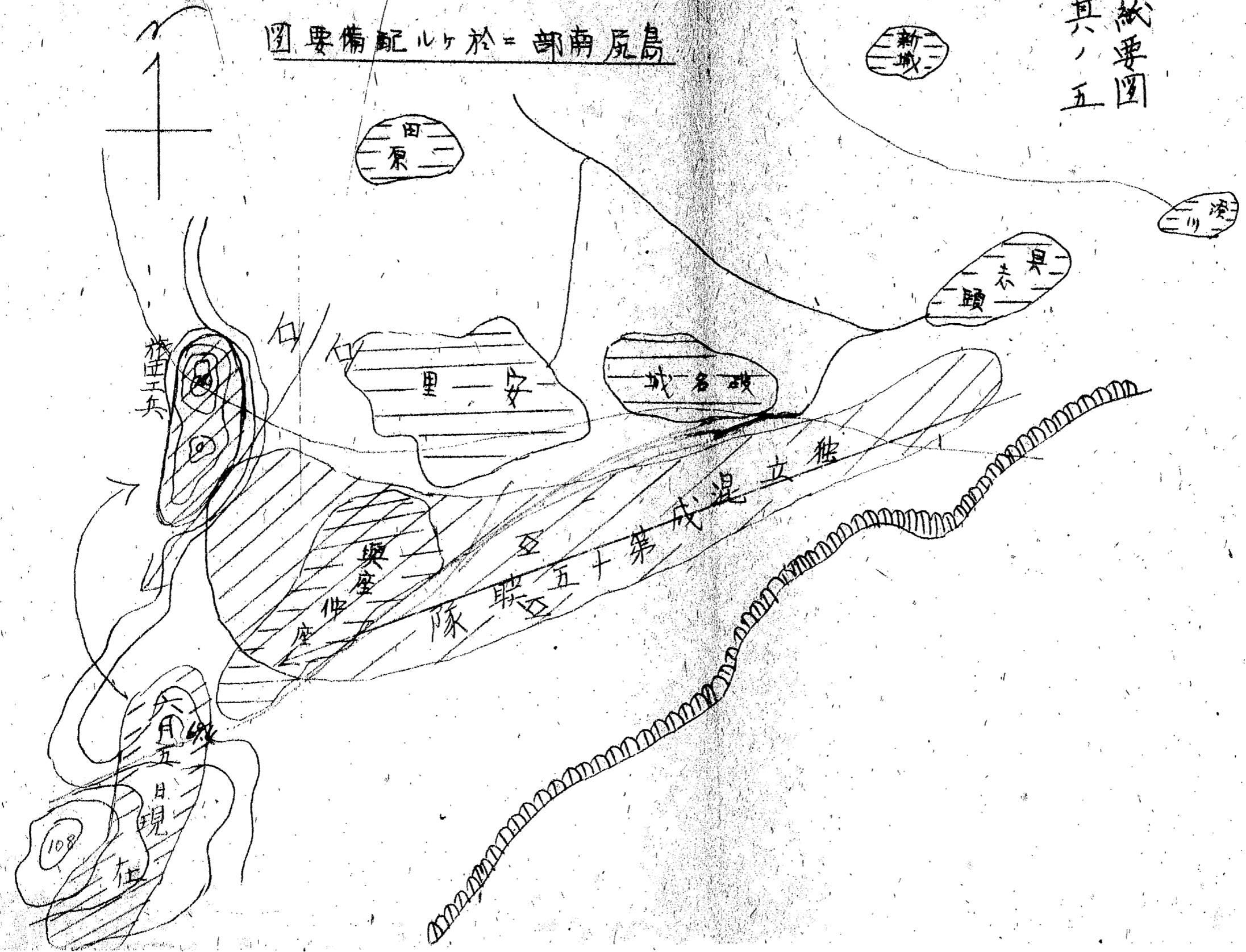
飽遠 本島ニ持久シ遊撃戰ヲナスニ決ス

15 六月二十六日 独立混成第十五聯隊解隊ト同時ニ中隊モ亦解隊シ

本格的遊撃戰ニ移行セリ

別紙要圖
其ノ五

島南南部於ル配備要圖



3026